教育のぼりべつ

平成３０年
10月1日
NO,１９

発行;登別市教育委員会 TEL. 0143-88-1100 〒059-0014 登別市富士町７丁目33番地

鷲別小学校　新校舎落成記念式典

平成３０年９月１４日（金）、午前１０時より鷲別小学校体育館において、伊藤副市長をはじめとする市関係者、並びに、多くのご来賓や地域関係者の皆様、そして全校児童２９３名と教職員３６名の約４００名が参加して、鷲別小学校新校舎落成記念式典が挙行されました。



国道３６号 歩道橋からの鷲別小学校新校舎とグラウンド

鷲別小学校の新校舎は、体育館が平成２７年４月から、各教室が平成２９年４月から、グラウンドが平成３０年４月から、それぞれ供用が開始され、今年度より全ての利用が可能となったことから、落成記念式典が開催されました。

新校舎には、市内でも唯一の人用エレベーターが設置されるとともに、最上階の４階には、非常用発電機や防災備蓄倉庫、屋上には太陽光パネルが配備されており、非常災害時の地域住民の一時避難所として活用できる防災機能を兼ね備えた大変優れた校舎となっています。

また、１階には多目的ホールや特別活動室等が設置され、空き時間等で地域住民が気軽に集い、積極的に活用することができる「地域コミュニティ機能」を備えた校舎でもあります。

記念式典では、伊藤副市長より主催者を代表しての挨拶、ご来賓からの祝辞や協賛会からの記念品贈呈と続き、中村完鷲別小学校長と児童代表の齊藤真紅さんからの謝辞の後、全校で心を一つにして「ひなわしの歌」を元気に合唱して、新校舎の完成をみんなでお祝いしました。

鷲別小学校は、来年度に『開校１３０周年』という大きな節目を迎えます。一層の発展と子ども達の成長を心より願っています。

記念式典の様子



新学習指導要領の移行措置がスタートしました!!

今年度より、各小中学校において、新学習指導要領への移行のための期間（小学校：平成３０、３１年度、中学校：平成３０～３２年度）いわゆる「移行措置」が始まりました。

新学習指導要領への円滑な移行ができるよう、各教科等の指導内容に一部を加える等の特例を設けるとともに、指導内容の移行が無いなど、教科書等の対応を要しない場合などは、積極的に新学習指導要領による取組や授業が、できるようになりました。

それに伴い、小学校では３・４年生の「外国語活動」及び５・６年生の「外国語科」の授業が先行実施されるため、そのための授業時数が、今年度より増加することになります。



小学校外国語巡回指導教員 板垣 恭兵 教諭 による
外国語科の授業の様子（幌別小学校　５年２組）

そこで、登別市では、これまで先進的に取り組んできた「土曜授業」の時数や週時程の見直し、及び、各行事等を厳選して実施に必要な授業時数を確保するとともに、「登別市小中学校英語教育推進プログラム」にもとづき、外国語指導助手（ＡＬＴ）やＡＬＴコーディネーター、小学校外国語巡回指導教員を活用して、小学校３・４年生の外国語活動３５時間、小学校５・６年生の外国語科７０時間を先行実施することとしました。

それに伴い、各小学校においては、校内研修等を通じて外国語の授業づくりや教材研究に熱心に取り組むとともに、ＡＬＴやコーディネーター等との打ち合わせや連携を大切にした新教材による授業実践が着実に進められています。

また、小学校においては「特別の教科　道徳」として、道徳の授業で教科書を使った実践が、今年度よりスタートしました。各学校では、教科化された趣旨を踏まえ「考え、議論する」道徳授業への質的転換が、強く求められていることから、子どもたちが、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めることをねらいとした授業を実践していくことが重要です。

道徳の教科書を使った「道徳科」の授業の様子
（若草小学校　１年２組　下　村　　渉　教諭）



その他、今年度の小学校における各教科の移行措置内容は、次のとおりです。

教 科	移　行　措　置　の　内　容
国 語	４学年で新学習指導要領の学年別漢字配当表に配当されている漢字により指導する。
社 会	新学習指導要領の５学年の「国土の位置、構成、領土の範囲」に基づき指導する。
算 数	３学年から５学年の「量と測定」に「メートル法」を追加する。
理 科	４学年の「光電池の働き」について省略する。（６学年で指導する）

なお、中学校においては、社会科の内容の一部が新学習指導要領の規定による以外は、小学校より１年遅れて、平成３１年度から本格的な移行措置が実施されることになります。

学校図書館司書の活動紹介

登別市では、平成２５年１０月より学校図書館司書が小学校に配置されるようになり、現在、４名の学校図書館司書が、それぞれ２校ずつを担当し、市内の全８小学校で学校図書館の運営にあたっています。

野　村　麻見子　さん　（青葉小・富岸小）　　原　　美　紀　さん　（幌別小・鷲別小）
田　鍋　佳　奈　さん　（幌東小・若草小）　佐　藤　敦　子　さん　（幌西小・登別小）

学校図書館司書の主な業務は、本の貸し出しや分類、返本の整理の他、本の修理や購入図書の選書、子どもたちが夏・冬休みに借りる本の選び方のアドバイスなど、多岐にわたっています。



おすすめの本の紹介を真剣に聞く鷲別小学校の子どもたち

鷲別小学校と幌別小学校を担当している、学校図書館司書の原さんのお話では、鷲別小学校では、約 7,000 冊、幌別小学校では、約 9,000 冊の蔵書があり、その全てを管理しているそうです。また、２校とも、オープンスペース型の開放的な学校図書館となっており、中休みや昼休みの時間には、子どもたちが本を借りたり、気に入った本を手に取って読んだりしている姿が、どちらの学校でも見られるそうです。

これからも、たくさんの本を読み、心豊かに成長して欲しいものです。

図書ボランティア活動の実際（鷲別小学校）

鷲別小学校では、原則月２回（第１・第３木曜日）の中休みに、読み聞かせボランティア「おはなしりぼん」の皆さんによる「読み聞かせ」が行われています。

７月１９日（木）には、紙芝居を使った読み聞かせがあり、低学年の子どもたちを中心に、４０名を超える子どもたちが熱心にお話に聞き入り、物語の世界に親しんでいました。



紙芝居の様子



清掃ボランティアの様子

また、ＰＴＡや卒業生の保護者、及び地域の有志の皆さん、あわせて１５名程で、図書ボランティア活動にも取り組んでおり、それぞれの都合に合わせて、ディスプレイの製作や本の修理、整頓などのボランティア活動を行っているそうです。同じ１９日には、有志による図書室の清掃ボランティア活動が行われ、机や椅子の汚れ落としや、本棚の清掃が行われ、ピカピカになりました。

青少年センターの活動

登別市では、青少年の健全育成に向けて「青少年センター」を中心に、家庭や地域との連携のもと、登下校の見守り活動や街頭指導、巡回指導に取り組むとともに、学校や関係機関と情報を共有し、不審者対策や非行の未然防止に努めています。



青少年センターは、教育委員会の２階にあり、子ども達の安心・安全な学校生活を守るために、放課後や夕方の巡回パトロール活動や、市内の小・中・高校との情報交流を進めて、非行の未然防止等に取り組んでいます。

また、全市的なお祭りや、姉妹都市交流事業等の時は、近隣各校の生徒指導担当者の協力のもと、特別巡回活動も実施しています。



６月３０日(土)～７月１日(日)に、川上公園を会場として開催された「のぼりべつ夏祭り」では、近隣各校の生徒指導担当者が３グループに分かれて会場内をくまなく巡回し、事件・事故の未然防止に努めました。特別巡回は、「幌別手作り祭り」でも実施しました。

市民ラジオ体操会

市民の体力向上及び健康保持、ラジオ体操の普及・振興、並びに小学生に対し、規則正しい生活習慣の定着を図ることを目的として、７月２８日（土）午前６時３０分から鷲別小学校と青葉小学校を会場として、毎年恒例となっている「市民ラジオ体操会」が実施されました。

２会場のうち青葉小会場では、早朝にもかかわらず、児童や保護者、関係者を併せて約９０名が参加して定刻から「ラジオ体操会」が始まり、えんま君も一緒に、元気に「ラジオ体操」を行いました。これを機に「早ね・早起き・朝ごはん運動」に進んで取り組み、規則正しい生活に心がける子どもたちが、一人でも多くなることを期待しています。

また、これから秋にかけて、過ごしやすい季節を迎えます。

適度な運動や、スポーツに取り組むとともに、読書にも積極的に親しみ、心と体の健康保持に努めましょう。



＜「市民ラジオ体操会」の様子＞